

県民の皆様こんにちは！

このページは私たちが薬剤師の目線で、県民の皆様に日々明るく元気な生活を送って頂けるよう、お伝えしたいことを掲載していくページです。

お薬のことはもちろん、お薬以外のことでも県民の皆様にとって必要な情報を少しずつ発信していきたいと思いますので、どうぞよろしくお願いいたします。

「秋と地球温暖化による健康影響」

こんにちは、青森県の皆様。薬剤師として、地域の健康を守る立場から、近年の地球温暖化が私たちの暮らしや健康にどのような影響を与えているか、特に「秋」という季節に焦点を当ててお話ししたいと思います。

青森県では、平均気温の上昇や季節の変化が顕著になってきています。秋の訪れが遅れたり、気温が高めに推移することで、以下のような変化が起きています。

- ① 🍎 農作物（特にりんご）の着色不良や品質低下
- ② 🌼 花粉の飛散時期の変化によるアレルギー症状の長期化
- ③ 🦟 気温上昇による蚊などの媒介生物の活動期間延長 → 感染症リスクの増加

📌 薬剤師として伝えたい健康への注意点

薬剤師の立場から、地球温暖化による秋の健康リスクに対して、以下のような対策をおすすめします。

- ・ アレルギー対策：花粉症の薬は早めに準備を。飛散時期が変化しているため、症状が出る前の服用が効果的です。
- ・ 感染症予防：気温が高い秋は蚊の活動が活発です。虫除け対策や、必要に応じて予防接種の相談を。
- ・ 熱中症対策：秋でも気温が高い日は油断禁物。水分補給と服装の調整を心がけましょう。

🦟 温暖化で変わる青森の秋：蚊の活動期間と健康リスク

青森県の皆様。薬剤師として、地域の皆様の健康を守る立場から、地球温暖化がもたらす「見えにくい健康リスク」についてお伝えしたいと思います。今回は、気温上昇により活動期間が延びている「蚊」などの媒介生物に注目します。

🦟 蚊の活動期間が延びているって本当？

かつて青森県では、蚊の活動は主に夏季（6月～9月）に限られていました。しかし、近年の気温上昇により、10月に入っても蚊が飛んでいる光景が見られるようになってきました。これは、以下のような理由によるものです：

- ・ 平均気温の上昇：蚊は15℃以上で活動可能。秋でも20℃前後の日が続くと活動が継続。
- ・ 越冬可能な種の増加：温暖化によりこれまで青森に定着しなかった蚊の種類が生息可能に。

- ・ 繁殖サイクルの延長：気温が高いと蚊の成長が早まり、世代交代が加速。



媒介される感染症のリスク

蚊は単なる「かゆい存在」ではありません。感染症を媒介することがあります。



薬剤師からのアドバイス

薬局では、蚊による健康リスクを軽減するために、以下のような対策をおすすめしています：

- ・ 虫除け剤の活用：ディートやイカリジン配合の製品を正しく使用しましょう。
- ・ 肌の露出を控える服装：特に朝夕の外出時は長袖・長ズボンを。
- ・ 蚊の発生源対策：庭やベランダの水たまりをこまめに除去。
- ・ 症状が出たら早めに相談を：発熱や発疹がある場合は、医療機関や薬剤師に相談を。

秋が長くなり、過ごしやすい日が増える一方で、蚊などの活動も長引いています。薬局では、虫除け製品の選び方や健康相談も承っていますので、どうぞお気軽にお立ち寄りください。皆様の健やかな秋を願っております。

県薬Web広報はこれからも、県民の皆さまのお役に立てる情報を提供してまいります。今後知りたいテーマなどございましたら、『青森県薬剤師会事務局』までご一報くださるようお願い申し上げます。